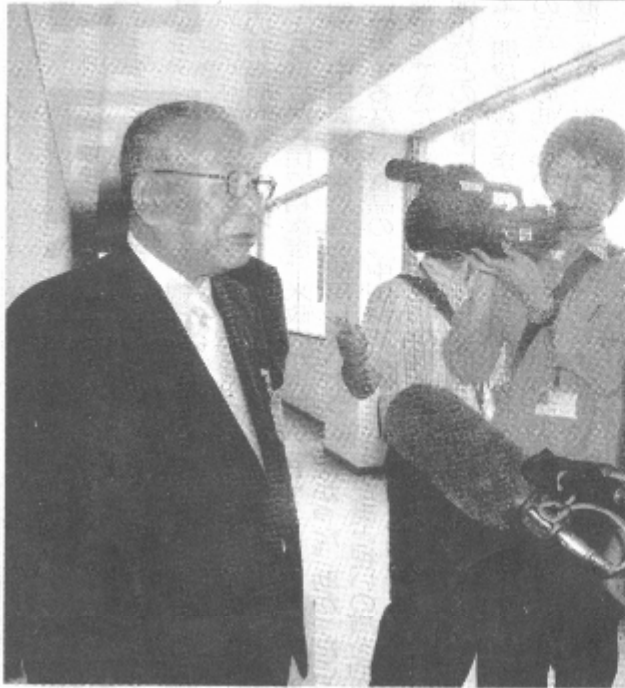


山泉市長、言及せず

市議選水増し請求

疑惑発覚後初の議会

二〇〇四（平成十六）年四月の市議選で、選挙公費で公費負担されるポスター代を、市議ら数人が水増し請求したとされる詐欺容疑疑惑が浮上している山泉市で十二日、市議会定例会が開会した。平野元市長は本会議では疑惑については一切触れず、閉会后、報道陣に対し「もしも不正があったのなら残念。（市議らの進退については）対



議会閉会后、市議らのポスター水増し請求について見解を述べる平野元市長＝12日午前10時25分、山泉市役所

象者の判断に任せる」と見解を示した。議会には市議二十二名全員が出席。開会前から大勢の報道陣が待ち構えていた。議員らは足早に議事控え室に入った。壇上に

立った平野市長は疑惑については何も触れず、提案説明を行い、約二十分間で閉会した。閉会后、限度額に近いポスター代を請求したある男性市議は報道陣に対し、「今は答える状況にない。時期がきたら説明したい」と言葉少な。県警から事情聴取を受けている市議らは口を閉ざしたままだった。本会議終了後は与党派による非公開の合同会議があり、議員二十人が集まった。会議終了後、会見した村橋安治議長は「会議で疑惑について協議したが、今の段階では細かい事を話す状況でない。ただ市民の皆さんにはお呼びしたい。市政、議会の

混乱を招いたことを申し訳なく思う」などと謝罪した。

「今は話す状況にない」

山泉市議会 聴取の市議ら出席

公費でまかなわれる市議選の選挙ポスター製作費の詐取疑惑が発覚した岐阜県山泉市議会の六月定例会が十二日、閉会した。本会議には市議二十二人全員が出席し、県警の事情聴取を受ける市議も、疑惑発覚後、初めて公の場に姿を現した。ポスター製作費を水増し請求して不正に公費を得たとの疑惑を持たれているのは五人前後の市議。これまでの取材に口を閉ざしてきたが、散会后に取材に応じた一人は「今はお話しする状況にない。そのときが来たら説明させてもらう」とだけ答えた。開会前には傍聴席を閉ざして取材陣を排除した議場で、村橋安治議長が事態を説明。「市や市民に迷惑を掛けている。警察の捜査の進行を見て対応していきたい」との趣旨の話をしたという。

2007.6.12 岐阜・夕刊

2007.6.12 中日・夕刊

散会后には与党四会派二十人で合同会議を開いた。会議後に取材に応じた村橋議長は「個々の事案について言えないが、警察の調べの進ちよぐにより、その都度協議していきたい」と説明した。

ポスター一費問題

山県市議会、説明なし

市も調査に消極姿勢

公費負担される市議選のポスター代が、当選した市議数人によって水増し請求されていた疑惑に揺れる山県市で12日、6月定例会が開会した。議中の市議らも全員が出席、問題発覚後初めて公の場に姿を現したが、市民へ明確な説明はなかった。平野元・市長も県警が捜査中である点を強調し、現段階での調査には消極的な姿勢を示した。

市議会は、議員が全員「捜査中だが、税金が無駄に使われたのが確実な証拠に使用されたのが確実になったら、市としても調査を考えた」と話した。正予算案など計8議案を提出。平野市長は提案説明でポスター代問題について一言も触れず、約20分で終了した。閉会后、平野市長は「県警が政の混乱に対し、申し訳

なく思っている」と陳謝。一方で「警察が捜査中でコメント出来ない。細かいことを述べる状況はない」と話した。

県警から事情聴取されている市議らは一様に口を閉ざし、詰めかけた報道陣を避けるように足早に議場を立ち去った。公費負担額の上限については「今は状況を話せる段階ではない」と繰り返すばかり。顔を隠し、駆け足で立ち去る市議もいた。

寺町知正市議は、今年3月に市議会が選挙公費制度の廃止を議決したことについて「21人中20人が廃止に賛成し、即廃止に

以前からポスター費用を指摘してきた同市の

至ったのには、市議にも制度を利用して何か思うところがあった方々がいたということだろう」と、疑惑をもたれた議員の当時の心境を推した。

問題発覚後、朝日新聞の取材に対し、水増し請求の事実を認め、返還や辞職に言及した市議は1人だけ。平野市長は「議員個々のモラルの問題だが、進退については個人の判断に委ねるしかない」と話した。

2007.6.13 朝日



報道陣が注視するなか始まった市議会。午前10時10分、山県市役所で

2007.6.13 読売

◆山県市会議長が陳謝

2004年4月の市議選で、公費負担されるポスターの製作費を巡り、水増し請求で市議ら数人が詐欺容疑で聴取を受けた岐阜県山県(やまがた)市議会の定例会が12日、開会した。県警から聴取を受けている市議数人を含め、市議22人全員が出席した。本会議で平野元(はじめ)市長は、疑惑について一切触れず、閉会后に「不正があるとしたら非常に残念」などと語った。散会后、報道陣の取材に応じた村橋安治議長は、「市や市民に混乱を招いたことはおわびしたい」と陳謝した。限度額に近いポスター製作費を請求し、聴取を受けた男性市議の一人は「答える時期にない」と話すにとどまった。

04年山県市議選 ポスター費用問題

「捜査見守る」

与党4会派 20議員が申し合わせ

04年の山県市議選で当選した議員5人前後が、公費負担されるポスター製作費を市に水増し請求した疑いがある問題で、同市議会(定数22)の与党4会派に所属する20議員が会合を開き、県警の捜査を見守ることを申し合わせた。一方、県議会(定数46)の最大与党派「県政自民クラブ」(32人)は12日、今年4月の県議選のポスター代につ

いて、個々の県議が自己点検するよう指示した。今回の問題では、同クラブに所属する同市議出身の県議も県警の事情聴取を受けている。

同市議会はこの日、6月定例会が開かれ、水増し請求疑惑が持たれている市議らも初めて公の場に姿を見せた。本会議では、平野元市長はポスター問題に一切言及しないなど、この問題が取り上げられることはなかった。本会議後に行われた4会派の会合では、約40分間協議があり、県警の捜査状況をみて対応することにしたという。

会合後、村橋安治議長は取材に対し「事情聴取を受けている人もおり、個々の現状を話すことはできない。市民や議会に迷惑をかけており、申し訳なく思う。今後、様子を見ながら、その都度対

応を考えていきたい」と陳謝した。

山県市議選 水増し請求

市議「話せない」

市議会開会 説明責任果たさず

公費で負担されるポスター代を、市議らが水増し請求した詐欺疑惑で揺れる山県市議会の定例会が12日、開会した。県警から事情聴取されている数人の市議も聴取後、初めて公の場に姿を見せたが「今は話せる状況に

ない」と繰り返し、説明責任を果たさずとほしなかつた。

定例会には、市議20人全員が出席した。本会議では詐欺疑惑について触れられることはない、事情聴取を受けている市議は散会後も「今は話せる状況にない」と答える状況にない。時期がきたら説明したい」と口を閉ざした。

水増し請求があったのは2004(平成16)年4月の市議選。27人が立候補し、25人がポスター代などを請求した。

平野元市長は「不正があったのなら残念。(市議らの進退については)対象者の判断に任せ」と話した。

2007.6.13 岐阜

与党会派の合同会議後、村橋安治議長は「疑惑について協議したが、今の段階では細かい事を話す状況ではない。ただ市民の皆さんにはおわびしたい。市政、議会の混乱を視野に事情を聴いてい

請求額が十万円台の市議が多かったが、限度額(約三十七万円)ぎりぎりを超えていた。県警は市議ら数人から、詐欺容疑での送検を視野に事情を聴いてい

山県市議 ポスター費詐取

疑惑の市議 謝罪せず

市議会開会 説明求める声もなし

公費で賄われる市議選のポスター製作費の詐取疑惑に揺れる山県市議会の六月定例会が十二日、開会した。疑惑を持たれている市議たちは、県警の事情聴取を受けてから初めて公の場に姿を見せたが、市民に向けて、疑惑について説明や謝罪をすることはなかった。

(横山大輔)



報道陣の質問に答える山県市議会の村橋議長(左)=山県市役所で

本会議開会直前には、まだ傍聴席を閉ざしたままの非公開の状態で、村橋安治議長が市議や市幹

部に向けて「執行部、市民に迷惑をかけている」とをいわびする。捜査状況を見極めながら、そのときときに対応を協議することもあるのだという。村橋は「お願ひします」と述べたという。

ポスター製作費を水増し請求して不正に公費を

得たとの疑惑で事情聴取を受けているのは五人前後の市議。本会議の散会後、与党系四会派の合同会合が再び非公開で開かれ、対応が協議された。

全二十二議席中、疑惑の市議を含めた二十二人が出席した。そのうちの複数市議によると、会合では報道対応などを議長が一本化して引き受けることや、推移を見守ることを確認したといい、疑惑を持たれている市議から

公費を支出した側の市も及び腰。詳細な調査を求める市民の声について平野元(はじめ)市長は

「資料が捜査機関の元にあるので難しいし、全員に疑いをかけるようなことは議会運営上も難しい」と言葉を濁した。市議の責任については「個人の良心、モラルで処理される問題。進退は本人に委ねるべきだ」と話した。

ポスター代

市議、水増し請求認める

山県 返還・辞職の意向

岐阜県山県市で04年4

月に行われた市議選をめぐり、当選した市議のうち数人が公費負担される選挙ポスター代を水増し請求したとされる疑惑で、岐阜県警に詐欺容疑で事情聴取された男性市議(57)が12日、朝日新聞

の取材に応じ、実際にか

かった費用よりも多い額を市に請求して公費を不正に得ていたことを認め

初めて。

この市議は無所属で立候補して当選した。ポスターの公費負担の上限額約37万円の約99%を請求していた。実際の水増し額はあらためて今、調べ

水増し分の返還について

は「出来るだけ早く市に返したい気持ちがある。ただ、県警の捜査がいまも続いている。捜査終了を待ちたい」と述べた。同市は03年4月に高富町、美山町、伊自良村が合併して発足。このとき、

選挙公営制度 候補者

の資金力にかかわらず選挙運動の機会が均等になるようにするため、国や地方自治体が選挙運動の費用を負担する制度。92年の公

選法改正で地方選挙でも適用されるようになった。

た。各自治体の条例で上限額が決められ、ポスター代や選挙カーのガソリン代などを公費負担す

る。岐阜県内では21市のうち、今年3月に廃止した山県市を除くと14市が採り入れている。

市議は水増し請求について「選挙公営は初めての制度だったので、理解

が浅い部分があった」と釈明。「市民の方々に深くおわびしたい」と陳謝した。進退については「市政を混乱させたくない。(辞職の)腹は決まっている」と示唆した。

選挙公営制度を導入した。得票が供託金没収ラインを超えた候補者は、

選挙ポスターの作製費や選挙カーの賃賃料、運転手の日当などを市に請求できることになった。合併後に初めて行われた04年4月の市議選には

定数22に27人が立候補。25人が公費負担を請求

し、総額で1千万円余が支出された。ポスター代は6人が35万円以上を請求する一方、12万円余しか請求しない人もいて3

倍以上の開きが疑惑を招いていた。県警も詐欺事件とみて捜査に乗り出し、ポスター印刷業者から事情聴取を行った。6月に入ってから市議ら数人から事情を聴いている。容疑が固まり次第、市議らを詐欺の疑いで書類送検する方針だ。

現県議も水増し請求

山県市議当時 市に返還の用意

岐阜県山県市議選のポスター代水増し請求問題で、4月の県議選で市議から転身した県議(53)が12日、朝日新聞の取材に対し、04年4月の市議選時に公費負担されたポスター代を水増し請求していたことを明らかにした。また、県議は、市から受け取ったポスター代36万円余を返還するため、11日、市役所に自ら現金を持参したが、市側は「受け入れ態勢ができていない」として受け取らなかったという。

県議は04年の市議選で、ポスター代として1枚単価2730円、計36万8650円を公費負担に請求。市議選を担当した印刷業者によると、ポスターは、はがき、名刺など5種類を印刷。合計の印刷代は、公費で負担さ

れる上限額の約37万円を数万円上回ったという。県議は業者に「市から選挙にかかわる印刷代として支払われる」と説明。業者は印刷代を項目に分けず一本化して県議に請求したという。その後、業者には、山県市から県議が請求した36万8550円が振り込まれた。不足した数万円分は、県議が業者に支払ったという。朝日新聞の取材に、県議の家族は「(市議選)当時は選挙公営制度の理解が不足していた」と釈明。県議の進退については「せっかく当選させて頂いたのだから」と答えるにとどまった。

一方、県議は4月の県議選で、公費負担として1枚単価1890円、計25万5100円のポスター代を県に請求。市議選と比べ、1枚の単価で840円の差があった。県議選の印刷物を担当した業者は、県議からポスターとはがきの印刷依頼を受けた際、はがきの印刷代は県議、ポスター印刷代は県議の事務所の指示で県へ請求したと説明している。

ポスター代の公費負担について、山県市議会は今年3月、「市の財政を圧迫する」として廃止を決めた。県議が県議選のポスター印刷を依頼したのは、この時期に当たるが、市議選との差額について県議は「ノーコメント」としている。

2007.6.13 朝日

県議会 自民、経費確認へ

県議会の県政自民クラブは12日開いた議員総会で、統一地方選でかかったポスター作成費を確認するように各県議に指示した。渡辺信行会長は「(請求額と実際の経費)間違いがあれば、速やかに県当局に訂正する」と話した。

ある県議は「キックバックがあれば問題だが、条例で決めた上限内なら問題ない」。別の県議は「選挙公営制度自体がつかしい。上限ではなく一律額を決め、足りない分は自分で払うようにするべきだ」と話した。

2007.6.13 中日

「各議員が責任持って調査を」

県政自民ク会長

山県市議選のポスター製作費水増し請求疑惑に関連し、県議会最大会派の県政自民クラブは12日の議員総会で、渡辺信行議員会長が「各議員が責任を持って調べてほしい」と述べ、支出などについて議員が責任を持って対応するよう指示した。渡辺氏は終了後の取材に対し「選挙経費などは事務所に任せられている県議がほとんどだが、どう対応したらいいかは各県議が把握しておかなければならない」と、指示した趣旨を説明した。

2007.6.13 岐阜

県政自民クがポスター代調査

所属議員に要請

県議会の県政自民クラブ(渡辺信行会長)は12日開いたクラブ総会で、二〇〇四(平成十六)年の山県市議選で公費負担されるポスター代を水増し請求した問題を受けて、渡辺会長が4月の県

2007.6.13 毎日

2007.6.13 岐阜

一方、県政自民クラブはこの日、総会を非公開で開いた。渡辺信行議員会長が「間違いがあれば、県選挙事務局に相談して速やかに訂正してほしい」と呼びかけたという。県議選のポスター製作費をめぐる問題は、市民団体「いらし・しぜん・いのち 岐阜県民ネットワーク」が県に監査請求を行

準備をしている。総会に出席した議員の一人は「(自分は)不正はなかった。県議の場合は会計担当者すべて取り切っているの、候補者では分からないケースが多いのではないかと話していた。」

【稲垣衆史、宮田正和】

選挙公営

ポスター製作費調査

請求額に大きな開き

大垣市選管は12日、4月補者によって請求額に大きな開きが出ていたことがわかった。

大垣市選管は12日、4月補者によって請求額に大きな開きが出ていたことがわかった。市選管に提出した金額は、旧大垣市選挙区で6万1475円から限度額にのほか、上石津(同2人)が3360円と3150

円、大垣(同29人)が17万3800円から24900円まで請求額の差があった。

瑞浪市は、枚数122枚で、上限額は36万4170円となっている。今年2月の市選の場合、上限額で請求した候補者が4人おり、最低は5万3800円だった。市選管は「業者によって印刷の値段が異なるため、不正はないものと信じている」と話している。

高山市の高山選挙区は39万1776円を限度額に設定した。市選管では「満額を請求した人から、まったく請求しない人までいた。選挙に際しては立候補者に不正がないように注意を呼びかけている」という。

可児市は、05年8月に実施した市選の再選挙で、限度額40万9080円に対して、5人が満額を請求したが、3万5831円の候補者もいた。

7月の同市選に無所属で立候補の準備を進めている会社役員(64)は「価格に大きな開きが出るのはおかしい。適正な製作費でポス

ターを作るべきだ」と話している。

県会自民も調査へ
県議会の最大会派「県政自民クラブ」の渡辺信行議員会長は12日の議員総会で、会派の県議に対し、今年4月の県選のポスター製作費を各自で調査するよう指示した。2004年4月の山県市選でポスターの製作費を増し、受給していた問題で、同市議ら数人が事情聴取を受けたことから、対応に乗り出した。

議員総会是非公開で行われたが、渡辺議員会長は自分の責任で調べ、間違いがあれば速やかに訂正するよるに」と各議員に話したという。